

## 交流人口に占める観光客の割合 (全国上位 10 地域、平成 12 年)

(単位：%)

順位	地域名	割合
1位	佐渡(新潟)	80.3
2位	日光(栃木)	79.4
3位	伊勢志摩(三重)	68.0
4位	宮古・八重島(沖縄)	65.8
5位	水上(群馬)	64.8
5位	南紀白浜(和歌山)	64.8
5位	伊香保(群馬)	64.8
8位	屋久島・種子島(鹿児島)	64.4
9位	会津(福島)	63.5
10位	小樽・倶知安(北海道)	63.4

  

11位	唐津(佐賀)	61.1
12位	沖縄本島北部(沖縄)	58.4
13位	能登半島(石川)	57.3
14位	富良野(北海道)	57.1
15位	那須(栃木)	56.1
44位	函館(北海道)	43.2
74位	長野(長野)	36.4
112位	京都(京都)	30.8
129位	佐世保(長崎)	28.8
参考	新潟県内の状況	
	新潟県平均	34.3
41位	上越	43.7
48位	魚沼	42.1
67位	村上	39.0
137位	新潟	27.6
147位	長岡	26.4
181位	三条・燕	22.2
	(全国平均)	29.1

(注1) 「移動目的別生活圏流動表(秋期1日、出発地 目的地)(2000年)」より、  
目的不明分を除き算出

(注2) 国土交通省は、全国を 207 の生活圏(付属資料5-1を参照)に分割し、生活圏間の幹線旅客流動(「生活圏間流動データ」)を調査している。当図表では、各都市が所在する生活圏に他の生活圏から流入する人口を交流人口とみなしている。なお同調査では、同一県から同一県への流入人口は集計対象外としている。

(出所) 国土交通省「全国幹線旅客純流動調査」より政策銀試算